

科目名：母性看護学概論	配当年次1年	開講時期 1年後期
単位・時間： 1単位（ 30時間）	授業の方法：講 義	
担当者： 井波 愛	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p><b>【講義内容】</b></p> <p>人としての性と生殖の意義を理解し、女性の一生を通して健康保持・増進と母性機能を円滑に遂行していくための母性看護の機能および役割を学びます。また、母性看護の対象の特性では、母性だけではなく父性、家族についても言及し、我が国の人口問題、母性を取り巻く社会問題家族の役割と機能などについて学んでいきます。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護の対象の身体的・心理的・社会的な特徴を理解する。</li> <li>2. 性と生殖の意義を理解する。</li> <li>3. 看護師が行うべき倫理的配慮について理解する。</li> <li>4. 母子保健の意義と動向を理解する。</li> </ol>	
授業の計画	<p><b>【授業の計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護の基盤となる概念</li> <li>2. 生殖器と性周期</li> <li>3. 妊娠の成立、性分化、配偶子の形成</li> <li>4. セクシュアリティ(人間の性)</li> <li>5. リプロダクティブヘルス・ライツとヘルスプロモーション</li> <li>6. 7. 8. リプロダクティブヘルスケア</li> <li>9. 10. 母性看護における倫理</li> <li>11. 母性看護のあり方(母性看護の歴史の変遷と現状)</li> <li>12. 母性看護の対象を取り巻く環境</li> <li>13. 女性のライフサイクルと家族</li> <li>14. 母性の発達・熟成・継承</li> <li>15. 試験・解説</li> </ol>	
成績評価の方法・基準	終講試験…筆記(50点)、♪小テスト…各10点(合計40点)、#GW課題…各5点(合計10点)	
テキスト	<p><b>【教科書】</b></p> <p>・統計看護学講座 母性看護学 [1] 母性看護学概論 医学書院</p> <p><b>【参考書】</b></p> <p>・ナーシンググラフィカ母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版</p> <p>・母性看護学 I 概論 女性・家族に寄り添い健康を支えるウィメンズヘルスケアの追求 医歯薬出版</p>	
履修上の注意事項	なし	

科目名：母性看護学方法論 I	配当年次 2 年	開講時期 2 年前期
単位・時間： 1 単位 ( 1 5 時間)	授業の方法：講 義	
担当者： メティフォゴ恵理 実務経験のある教員による授業 レ 助産師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義を行う。		
授業概要 目的・到達目標	<b>【講義内容】</b> 人間のライフサイクルにおける各期の特徴、母性看護の意義・目的などの既習知識を通して、方法論 I ではライフステージ各期の健康問題と社会的な課題に向き合い、対象に応じた看護を考えていきます。 到達目標 <b>【目 標】</b> 1. 女性のライフサイクル各期の特徴と健康問題を理解する。 2. 男性のライフサイクル各期の特徴と健康問題を理解する。	
授業の計画	<b>【授業計画】</b> 1. 2. ライフサイクルにおける女性・男性の健康と看護の必要性 3. 4. 思春期・成熟期・更年期・老年期の健康と看護 5. ライフステージ各期の健康問題をとり上げ、課題に対する支援方法を共有する。 6. 月経異常/性感染症/妊娠/思春期やせ症と不健康やせ 7. 月経随伴症状の異常/月経困難症/生殖器悪性腫瘍 生殖器疾患/精神疾患/虚血性心疾患/ロコモティブシンドローム 8. 試験	
成績評価の方法・基準	筆記試験 50% レポート 50%	
テキスト	<b>【教科書】</b> 系統看護学講座 母性看護学概論 医学書院 e テキスト 系統看護学講座 母性看護学各論 医学書院 e テキスト  <b>【参考文献】</b> なし	
履修上の注意事項	なし	

科目名：母性看護学方法論Ⅱ	配当年次2年	開講時期	2年後期
単位・時間：1単位（30時間）	授業の方法：講義		
担当者：井波 愛 実務経験のある教員による授業 レ 助産師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義を行う。			
授業概要 目的・到達目標	<b>【講義内容】</b> 妊婦・産婦・褥婦の身体的・心理的变化とその家族を含めた対象の心理・社会的特性、および新生児の生理的特性について知識を習得します。また、方法論Ⅱではマタニティサイクルにおける妊娠・分娩期および産褥期にある女性と新生児、その家族の看護について学び、母子、夫、家族に対して必要な看護を学んでいきます。  <b>【目 標】</b> 1. 妊娠・分娩・産褥および新生児の生理を理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥、新生児の正常・異常に対する看護を理解する。		
授業の計画	<b>【授業計画】</b> 1. 子どもを産み育てること・母親になるということ 出生前からのリプロダクティブヘルスケア 2. 妊娠の成立、胎児の発育、胎児と胎盤 3. 4. 妊娠期の身体的・心理的・社会的特性 5. 妊娠の異常と看護 6. 7. 分娩期の身体的・心理的・社会的特性 8. 分娩期の異常と看護 9. 10. 新生児の生理と看護 11. 新生児の異常と看護 12. 13.産褥期の身体的・心理的・社会的特性 14. 産褥期の異常と看護 15. 試験・解説		
成績評価の方法・基準	筆記試験 100%		
テキスト	<b>【教科書】</b> 系統看護学講座 母性看護学概論 医学書院 e テキスト 系統看護学講座 母性看護学各論 医学書院 e テキスト  <b>【参考文献】</b> なし		
履修上の注意事項	なし		

科目名：母性看護学方法論Ⅲ	配当年次 2 年	開講時期 2 年後期
単位・時間： 1 単位 ( 1 5 時間)	授業の方法：講義/演習	
担当者： 井波 愛 実務経験のある教員による授業 ✓ 助産師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義を行う。		
授業概要 目的・到達目標	<b>【講義内容】</b> 母性看護は、各ライフサイクルにわたって成長・成熟する女性の健康の保持増進、疾病の予防を目的とし、次世代が健全に育成していくために行われます。母性看護学方法論Ⅲでは、事例展開を通し、母性看護におけるウェルネスの視点と既習の知識を生かして対象を理解し、看護知識を統合して妊娠・分娩・産褥・新生児期にある母児の看護を学びます。 <b>【目 標】</b> 1. 妊産褥婦と新生児の特徴を理解し、ウェルネスの視点で必要な看護を見出せる。 2. 妊産褥婦と新生児に関わる基本的なケアを学び、適切な援助方法で実施できる。	
授業の計画	<b>【授業計画】</b> 1. 妊娠期～分娩期の生理的变化と看護 2.3. 産褥期と新生児期の生理的变化と看護 事例展開 4. 周産期の適切な援助技術(実演を用いた講義) ①産褥子宮底触知 ②産褥体操 ③調乳 5. 6. 7. 実技演習 ①腹囲・子宮底長測定・レオポルド触診・胎児心音聴取 ②新生児バイタルサイン測定 ③沐浴 ④産褥体操 8. 試験(レポート課題・筆記)と解説	
成績評価の方法・基準	筆記試験 70% 事例展開記録 30%	
テキスト	<b>【教科書】</b> 系統看護学講座 母性看護学概論 医学書院 e テキスト 系統看護学講座 母性看護学各論 医学書院 e テキスト <b>【参考文献】</b> ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程、医歯薬出版、太田操 編著、	
履修上の注意事項	なし	